

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称： 一般社団法人 しなの福祉教育総研	所在地： 長野県上田市真田町 6918 番地 1
評価実施期間： 平成 30 年 10 月 1 日から平成 31 年 1 月 15 日 * 契約日から評価結果の確定日（通常、評価結果報告会日）まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） B16023 B18054	

2 福祉サービス事業者情報（平成 31 年 1 月現在）

事業所名： (施設名) 佐久市 あさしな保育園	種別： 保育所
代表者氏名： 佐久市長 榊田 清二 (管理者氏名) 副園長 柳沢 美智子	定員 (利用人数)： 150 名 (129 名)
設置主体： 長野県佐久市 経営主体： 長野県佐久市	開設 (指定) 年月日： 平成 18 年 8 月 21 日
所在地： 〒384-2103 長野県佐久市御馬寄 715-1	
電話番号： 0267-51-5005	FAX 番号： 0267-51-5025
ホームページアドレス http://www.city.saku.nagano.jp	
職員数	常勤職員： 8 時間 名 非常勤職員 22 名
専門職員	(専門職の名称) 副園長 1 名
	主任保育士 1 名
	保育士 5 名 保育士 19 名
	調理員 1 名 調理員 3 名
施設・設備 の概要	(居室数) (設備等)
乳児室 2 室	遊戯室 1 室
ほふく室 1 室	便所 6 室
保育室 6 室	野外遊戯場 (庭園) ー
調理室 1 室	
事務室 1 室	

3 理念・基本方針

【佐久市 保育理念】

- 子どもの最善の利益を考慮し、健全な心身の発達を図り生きる力の基礎を培います
- ・ 養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。
 - ・ 保護者の気持ちを受け止め、ともに子育てをします。

【佐久市の保育目標】

- 1、自然の中で楽しく遊ぶ子ども

- 2、心身ともにたくましい子ども
- 3、思いやりのある子ども

【あさしな保育園 理念・基本方針】

- ・子どもが現在（いま）を幸せに生活し、未来（あす）を生きる力を育てる。

【あさしな保育園の方針】

- ・安全で安心できる生活の場を整え子どもが自己を十分に発揮できるようにする。
- ・子ども自ら伸びていく力を援助し保護者の自ら行う子育てを支える。

【あさしな保育園の目標】

- 1、あいさつのできる子ども
- 2、やさしく思いやりのある子ども
- 3、自然の中でいろいろな発見をして楽しく遊ぶ子ども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

【佐久市の特徴】

あさしな保育園のある地区は平成の大合併により、平成17年4月より、望月町、浅科村、臼田町が佐久市と合併されました。佐久市は、新幹線駅が誘致されたことで、農村地帯は、商業都市に生まれ変わっています。高速道路通過も進んでいました。県歌「信濃の国」に歌われている[肥沃の地]佐久平は、益々発展し人口の増加があると思われれます。市は第二次佐久市総合計画を策定し、「まち」の目指す将来の姿や、その実現のために必要な取り組みがなされていきました。「暮らしやすさ」「住みやすさ」「働きやすさ」を実感でき、持続的に発展できる街づくりを目指していきました。

【子育て支援・保育・学校教育の特徴】

第二次佐久総合計画の中に子育て支援も謳われており、のどかな自然豊かな田園地帯で*基本計画にある、安心できる出産、子育ての環境整備が行われ、①少子化対策・母子保健、②子育て支援・児童福祉に取り組まれていきました。

具体的な主な取り組みに

(1) 結婚・妊娠の環境整備

- ・結婚や子育ての意識の高揚を高め、若者に対して恋愛・結婚・子育て支援に対するイベントの実施。
- ・不妊、不妊治療の助成を行い安心して赴任治療を受けられる環境づくりの推進、妊娠、出産の適齢期について考える機会の提供。
- ・妊婦に対する経済的負担の軽減、福祉医療費の支給の継続。

(2) 出産・育児の環境整備

- ・妊娠期からの切れ目のない支援、パパママ教室、こんにちは赤ちゃん教室等出産・育児の支援の推進。
- ・浅間総合病院では、引き続き安心して出産できる関環境整備、出産後の母と子の関りについて学ぶ機会の提供。
- ・乳幼児の健やかな成長のための、健康診査、審査後のフォロー教室や相談の充実を図る。
- ・予防接種の必要性や効果の啓発接種の推進。
- ・経済的負担の軽減に任意予防接種の費用の助成の検討。

第二次総合計画前期の主な取り組み

(1) 子育て支援サービスの充実

- ・多様化するニーズの対応するために、子育てサロン、つどいの広場が等子育て支援事業の推進と多くの参加者、広報活動の強化を図る。
- ・子ども不安や悩みを解決する、チャイルドラインの支援、保護者の育児不安の解消、相談指導の充実。
- ・児童虐待の早期発見、早期対応、予防のための関係機関との連携、啓発の強化。
- ・子育て支援の負担の軽減を図る各種施設の検討。
- ・こども未来館の展示内容や各種講座、ワークショップの充実、地域や学校とともに連携の強化。

(2) 保育サービスの充実

- ・施設の統合や民間活力の導入を検討、施設の改築、設備の充実等保育環境の整備の推進。
- ・乳児保育、延長保育、休日保育、病児・病後児の保育等ニーズに応じた保育内容の充実と保育士の確保。
- ・地域の自然を生かした野外活動を中心に、地域の文化などの取り入れた保育の推進。
- ・認定こども園の設置の検討推進のための情報提供。

(3) 児童館の整備と運営

- ・臼田地区の小学校統合に合わせた児童館の配置検討。
- ・児童が健全に育つ環境整備、地域と連携し、特徴ある児童館の運営。

子育てを地域ぐるみで支援する体制が、行政の後押しでできていました。

【あさしな保育園の特徴】

あさしな保育園の周りには、五郎兵衛米の田んぼが広がる穏やかな自然豊かな田園地帯に建てられていました。園では五郎兵衛米を年長児が育てる、バケツ田んぼが一人ひとり育てる取り組みがされていました。田植えを行う前に近くの田んぼから土をいただいたり、苗をいただき地域の方の力を借りて「御田植」が行われていました。小さな田んぼですが稲を育てる、田んぼの生き物昆虫観察を行い、ほんの少しのようですが収穫の喜び、感謝の気持ち育てていました。秋には、3・4歳児も一緒になり、稲こき、もみすり、精米が協力して手作業で行われていました。小学生や地域の方、保護者と収穫様子の喜びが廊下に展示され、微笑ましさを感じる保育がされていました。また近くの「五郎兵衛米の記念館」、までお散歩に行き自然豊かな田園の歴史に触れ、地域文化の行事に参加する機会につなげ、宿場まつりやどんど焼きのイベント参加もされていました。あさしな保育園夏まつりには、あさしな地区のゆるキャラ「こめこっち、ライスマン」の参加があり、地域ぐるみの支援体制が感じられました。五郎兵衛米は消毒もあまりされないため、たくさんの虫たちやシラサギ、アオサギ、トンビも多く生息していました。保育園のブルーベリーの木にはイナゴ、ドジョウ、カエル、毛虫が引っかかっており、子どもたちとだれの仕業だろうと不思議な自然観察をされていました。「モズのはやにえ」を見ることができていました。保育園は、恵まれた自然環境とたくさんの人と接し、多くの方の手を借りて、豊かな感性を育てる保育に取り組んでいました。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）

初 回

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

◇特に良いと思う点

○子ども自ら伸びていく力を持ち、「粘り強い」主体性を尊重した保育が実践されていました。

あさしな保育園は、129名と佐久市では大きな保育園でした。自然豊かな環境のもと、バケツ田んぼの活動を行い、粘りよく友達や保育士と遊ぶ中、楽しさだけでなく我慢することや思いやることの大切さを感じる保育がされていました。保育士のスキルも高く子どもと向き合い、日々の保育の中から子どもの輝き、個性、力強さを大切に、また見出し、その主体性を伸ばす保育が実践されていました。

○地域の方々とみんなで支える子育て支援がされていました。

あさしな保育園は、平成17年に市長村合併され、平成18年よりちくま保育園、みまき保育園があさしな保育園に統合され定員150名となりました。小学校、児童館も隣接され設備の整った環境でした。園玄関に入ると、頂いたわら細工、フラワーリースなどが飾られ地域の方の保育園への関心が高いことが伺えました。また玄関には保護者が作成した、リサイクルボックスが設置され、不要になった衣類や育児用品が交換できるようになっており、保護者のリサイクルや物を大切にすることの取り組みが感じられました。園では広報や管理を行っていました。聞き取り調査でしめ飾りを地域の方が作り、子どもたち一人ひとりに作って下さったことを聞き、「五郎兵衛米」を通して地域とのつながりを持ち、「みんなの子育て」が実施されていました。

○すばらしい環境の整った保育園で保育が実践されていました。

あさしな保育園は、浅間山のすそ野が美しく、緑豊かな田園地帯にあり、門を入ると事務室で訪問者が確認できるシステムがあり、不審者の対応が整えられていました。園庭も広く子どもたちが駆け回り、伸び伸び遊べる環境でした。園舎は木材が多く使われ温かみやぬくもり、癒しを感じられ心地良い空間となっていました。乳幼児室は床暖、エアコンの設備があり、12月訪問日に素足での保育がされていました。また廊下が広く、保育室以外での活動ができ、一面には園児へのクールダウンのスペースも設けられていました。家庭生活の模写ができるスペースには、本物の調理器具等があり実体験ができていました。また園まつりで使われた野菜をかたどった神輿が置かれ、遊具もあり雨でも伸び伸び遊べていました。事務室、廊下には紙芝居や絵本が豊富にあり、子どもたちが本にかかわる環境も整っていました。未就園児の体験の場「つどいの広場」が週3回開かれ専任の職員の関りで、保育園の様子や遊戯室の活用で、入園が安心できる取り組みがなされていました。

○健康な心と体を育て、自ら健康で安心な生活をする保育がされていました。

あさしな保育園では、運動保育士による運動指導が取り入れられており、縄跳びや竹馬に挑戦し自信をつけ、次の意欲につなげ、負けず嫌いの頑張り屋につなげていました。管理者に運動保育士の資格取得者がおり、日常でも保育士へアドバイスがされていました。また健康の源、食育にも力を入れ、市の献立表に基づき調理が行われ薄味の具たくさんのお食事でした。調理に工夫がありニンジン在花形に切ったものを入れ、見つけられると「大当たりいいことあるね」と子どもが食に興味を持つ工夫がされていました。食事時、好きな食べ物を聞くと「ピーマンや人参」と答えびっくりしました。園庭で玉ねぎやジャガイモを育て、バケツ田んぼで収穫した五郎兵衛米のおにぎりやカレーを楽しんでいました。集団で食事をする事で、今まで口にしなかった物も口にするようになっていました。

アレルギーの対応も食器を別にし、配膳・下膳もわけ、洗浄も最初に行う等されていました。

○子どもと保護者、共に成長する支援がされていました。

育児相談は随時行われていますが、園だよりやクラスだよりに、各家庭で工夫していることや育児についての悩み事等の記事を掲載し、同じように悩んでいる保護者に参考にしていただ

いていました。保護者アンケートに、お便りを読み悩んでいるのは自分だけでないんだとか、こうすればいいのかなど大変参考になりますと言う意見もありました。

◇特に改善する必要があると思う点

○職員研修・講習へ更なる向上につとめ保育の質の向上の一層の取り組みを期待します。

市等で企画されている研修、外部研修は職員のやりくりで積極的に参加されていることが確認されました。園内研修も職員会等で定期的実施されてていました、副園長の指導で書籍の紹介、貸し出しも行われ質の向上も務められていましたが、あさしな保育園の目指す、「園児一人ひとり個性を伸ばし自己を自ら伸ばせる力を発揮できるよう援助する」一層の研修や専門教育に取り組みをされ、あさしな保育園の特色を生かした保育が全職員で協力し取り組まれることを期待します。

○虐待についてのさらなる周知を望みます。

虐待等権利侵害については、一般職員への周知が十分とは言えない調査結果でした。児童虐待調査シート（長野県児童相談所版）等を活用し、職員全体に周知が図られることを望みます。

7 事業評価の結果（詳細）と講評（別添1、2）

- ・ 共通項目
- ・ 内容評価項目

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3-1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添4）